

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2015年7月5日聖日礼拝

---

使徒の働き連講55

「水を注いだアポロ」

使徒の働き18章18節-19章2節及び

コリント人への手紙第一3章4節-7節

竿代照夫牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

### 使徒の働き 18章18節 - 19章2節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
( ©新日本聖書刊行会 ) を使用しています。

第二版の聖書はp243 ~ / 第三版の聖書はp266 ~

- 18 パウロは、なお長らく滞在してから、兄弟たちに別れを告げて、シリアへ向けて出帆した。プリスキラとアクラも同行した。パウロは一つの誓願を立てていたもので、ケンクレヤで髪をそった。
- 19 彼らがエペソに着くと、パウロはふたりをそこに残し、自分だけ会堂に入って、ユダヤ人たちと論じた。
- 20 人々は、もっと長くとどまるように頼んだが、彼は聞き入れないで、

- 21 「神のみこころなら、またあなたがたのところに帰って来ます」と言って別れを告げ、エペソから船出した。
- 22 それからカイザリヤに上陸してエルサレムに上り、教会にあいさつしてからアンテオケに下って行った。
- 23 そこにしばらくいてから、彼はまた出発し、ガラテヤの地方およびフルギヤを次々に巡って、すべての弟子たちを力づけた。
- 24 さて、アレキサンドリヤの生まれで、雄弁なアポロというユダヤ人がエペソに来た。彼は聖書に通じていた。

- 25 この人は、主の道の教えを受け、霊に燃えて、イエスのことを正確に語り、また教えていたが、ただヨハネのバプテスマしか知らなかった。
- 26 彼は会堂で大胆に話し始めた。それを聞いていたプリスキラとアクラは、彼を招き入れて、神の道をもっと正確に彼に説明した。
- 27 そして、アポロがアカヤへ渡りたいと思っていたので、兄弟たちは彼を励まし、その弟子たちに、彼を歓迎してくれるようにと手紙を書いた。彼はそこに着くと、すでに恵みによって信者になっていた人たちを大いに助けた。

28 彼は聖書によって、イエスがキリストであることを証明して、力強く、公然とユダヤ人たちを論破したからである。

## 19章

- 1 アポロがコリントにいた間に、パウロは奥地を  
通ってエペソに来た。そして幾人かの弟子に  
出会って、
- 2 「信じたとき、聖霊を受けましたか」と尋ねる  
と、彼らは、「いいえ、聖霊の与えられることは、  
聞きもしませんでした」と答えた。

# 聖書朗読

## 新約聖書

### コリント人への手紙第一 3章4節-7節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
( ©新日本聖書刊行会 ) を使用しています。

第二版の聖書はp293 ~ / 第三版の聖書はp320 ~

- 4 ある人が、「私はパウロにつく」と言えば、別の人は、「私はアポロに」と言う。そういうことでは、あなたがたは、ただの人たちではありませんか。
- 5 アポロとは何でしょう。パウロとは何でしょう。あなたがたが信仰に入るために用いられたしもべであって、主がおののくに授けられたとおりのことをしたのです。
- 6 私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。
- 7 それで、たいせつなのは、植える者でも水を注ぐ者でもありません。成長させてくださる神なのです。



# 説教

## 使徒の働き連講55

「水を注いだアポロ」

使徒の働き18章18節-19章2節及び  
コリント人への手紙第一3章4節-7節

竿代照夫師



## 主テキスト

「私が植えて、アポロが水を注ぎました。

しかし、成長させたのは神です。」

(1コリント3:6)

- ・(前回)パウロの同労者となったアクラ夫妻

- ・(今回)教会を堅立したアポロ

## A . パウロの伝道旅行

(第二次の終了と第三次の開始)

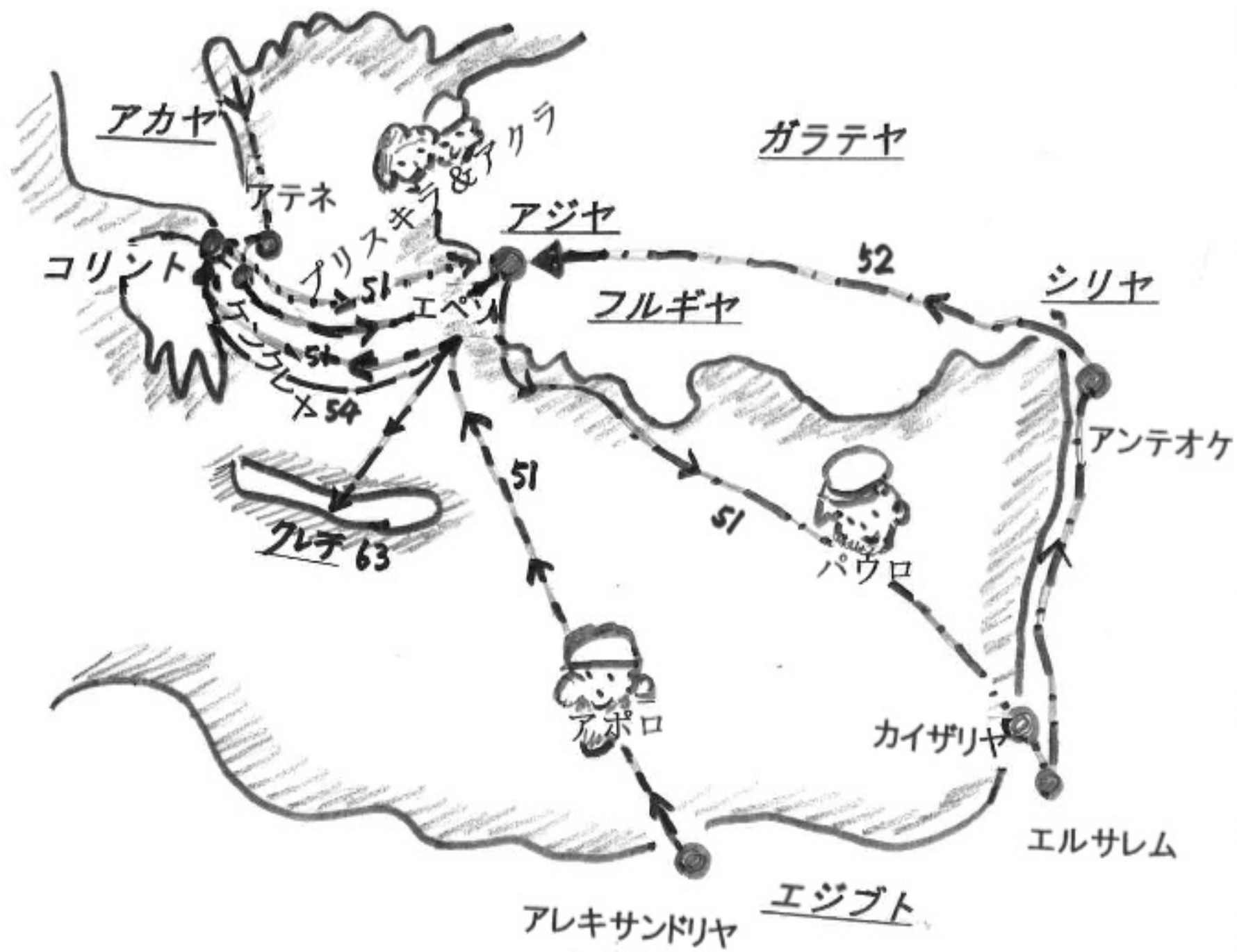
### 1 . コリント伝道とその締め括り

- ・力強い宣教と教会の堅立(50 ~ 51年)

- ・ユダヤ人による迫害

## 2 . パレスチナへの帰還 ( 5 1 年 )

- ・ コリントからエペソへ ( 地図参照 )
- ・ アクラ夫妻を残す
- ・ エルサレムからアンテオケへ



### 3 . 第三次伝道旅行への出発

- ・ アンテオケを出立 ( 5 2 年 )

- ・ エペソでの伝道

## B . アポロの足跡と奉仕 (@エペソ、コリント)

### 1 . アレキサンドリヤ生まれ

- ・アポロという名前：ギリシャの主神ゼウスの息子
- ・アレキサンドリヤ：国際都市、政治・文化・商業の中心、ユダヤ教の中心
- ・アポロの信仰と訓練：最高のユダヤ教教育、一般教養、キリスト教信仰



## 2. エペソへの来訪

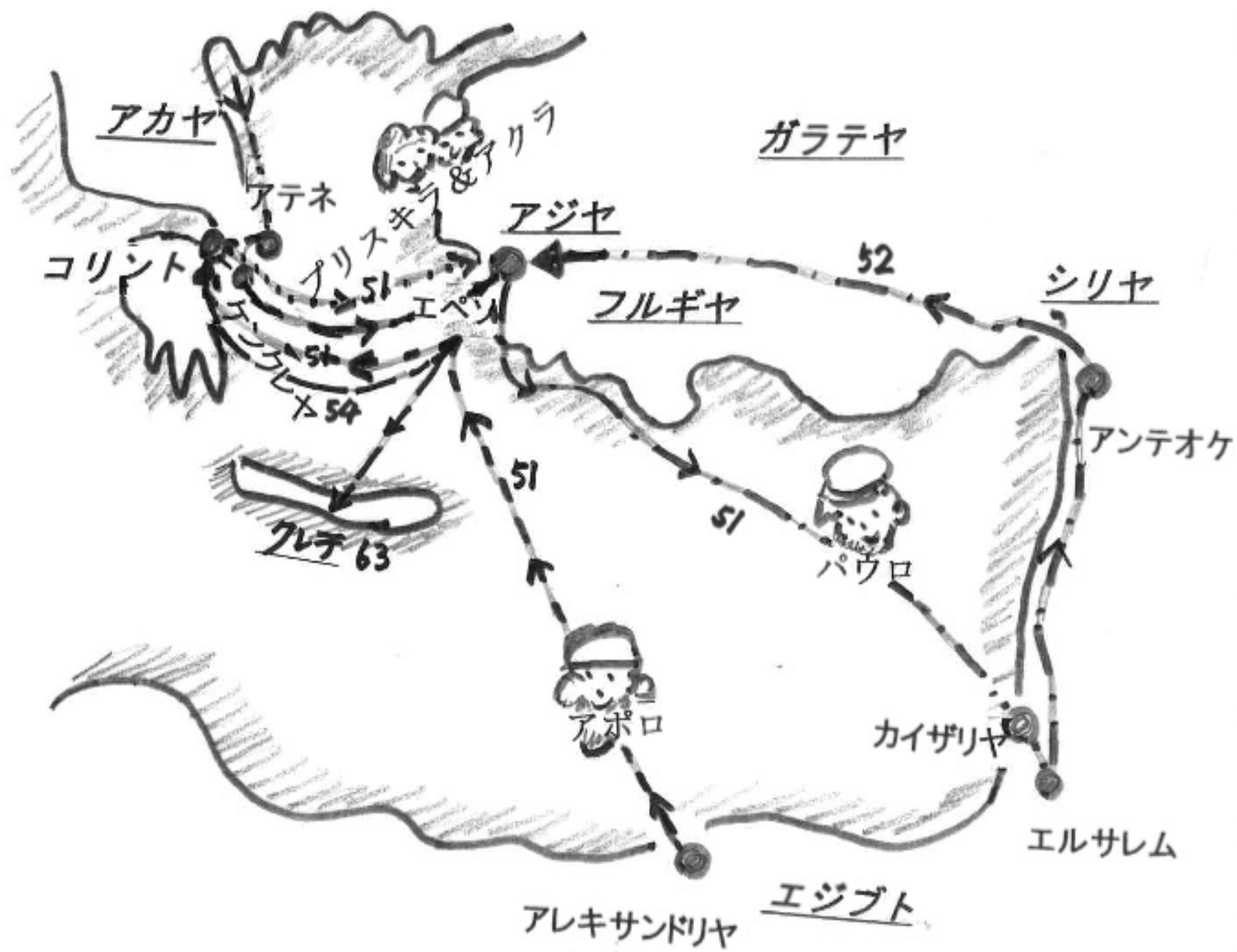
- ・パウロ出立の後に到着(51年、再度地図参照)
- ・アクラ夫妻との出会いと助け(18:24—26)

## 3. コリントでの奉仕

- ・コリント教会の堅立に貢献:(18:27b—28)
- ・教会の成長を助ける:「水を注ぐ奉仕」  
(1コリント3:7)

## 4. その後

- ・エペソに戻り、留まる(55年、1コリント16:12)。
- ・クレタ島での奉仕  
(63年、テトス3:13、再度地図参照)
- ・その後の奉仕:ヘブル書執筆(?)



## C . アポロの人柄

- 1 . 熱心な勉強家
- 2 . 熱心な説教者
- 3 . 熱心な教育者
- 4 . 謙虚な求道者

## 終わりに

- ・教会の建て上げのために、  
私ができる仕事は何かを考えよう
- ・育て給う神の主導権を信じ、委ねよう